

## 大牟田市総合計画審議会(第1回)会議摘録

- ◆ 日 時 令和5年4月11日(水) 18:00～20:00
- ◆ 場 所 大牟田市役所北別館4階第1会議室
- ◆ 委員出席状況 出席17人  
欠席2人

### ◆ 議 事

#### 1 辞令交付

- ・辞令交付
- ・委員自己紹介、
- ・市長挨拶

#### 2 開会

- ・事務局紹介
- ・定数の確認

#### 3 会長、副会長選出

互選により下記のとおり会長、副会長が選出された。

会 長 八木 雅夫 有明工業高等専門学校校長

副会長 糸永 一平 大牟田商工会議所副会頭

八木会長、糸永副会長から挨拶が行われた。

#### 4 議事

(前段) 当会の確認事項。

各種団体の代表として出席している委員のみ代理出席可。

市民公募委員、会長・副会長は不可。

##### (1) 大牟田市の総合計画と現況について

事務局より総合計画の意義や役割、本市の主な取組み等について説明。

質疑なし

##### (2) 第7次総合計画の策定方針と今後のスケジュールについて

事務局より、第7次総合計画の策定方針と今後のスケジュールについて説明。

委員

(3P) 第6次総合計画は4年間の計画であったが、なぜ第7次総合計画は、10年間の計画としたのか。人口減少問題を考えれば、短いスパンの計画とし、その傾向を見ながら次の計画を策定するようにした方が良く考えるが理由が何かあるのか。

事務局

まずは中長期的なまちづくりの指針として位置付けたいことが一つの理由。先ほど総合計画以外にも各分野で、それぞれの計画を策定しておるということを説明したが、それらの計画については、総合計画よりも計画期間が長いものがある。

総合計画の方が、最上位計画であるというところから、その位置付けを

明確にしたところで策定して参りたい。  
一方で、短いスパンで、中間年である5年目には、必要であれば見直しを図りたいと考えている。

委員 全施策の成果指標達成度一覧について、各項目を誰がどのように判断するのか具体的に説明してほしい。  
事務局 各施策の指標については、アクションプログラムの中で設定している。第7次総合計画について、どのような目標値を掲げるかについては、現在議論を進めている。  
委員 達成度の算出方法は自己採点か。  
事務局 そのとおり。

### (3) 基礎調査資料について

事務局より市民意識調査報告書について説明。

委員 本調査結果については、有効回答率44.9%との説明があったが、通常の回収率はどの程度か。ウェブ調査の導入で上がったのかを含めて教えて欲しい。

事務局 前回調査したときは、同じ2000名の方に調査を実施し、回収数としては747票、有効回答率としては37.4%であった。  
今回ウェブによる回答も加えたことで、若い世代の人からの回答が増え、回収率の方は上がったものと考えている。  
人口が10万人程度であれば、回収率が30%以上で有効な回答であるという専門家の見解もあることから、今回の44.9%という回収率は、他自治体と比較しても高い数値であり、有効な回答であると判断している。

委員 (19P)定住意向の調査において、住みたくない・転出したい理由に、税金公共料金が高いという理由が8件ある。どこの自治体と比べるかによると思うが、そのような事実はあるのか

事務局 自由回答となっている。この場では持ち合わせがないため、詳細について改めて確認する。

委員 もしこれが事実でなく、それほど高くないのであれば、こういう誤解を取るべく、何らかのPRなり努力をすべきかと思ひ確認のために質問した。

会長 (31P)良質な水がある町という項目については、重要度も満足度も高いが、安全でない良質でない水が、過去あったということの裏返しか。委員の意識としてはいかがか。

委員 そのとおり。大牟田川の水質汚染に関するネガティブなニュースが全国に発信された頃と比較すると、随分安全安心な水が供給されていると理解している。

委員 水の件で言うと、大牟田市では濁水で断水した記憶がない。福岡市ではたびたび濁水による断水があったので、その辺では安定しているのではないかと考えている。

委員 以前、寒波の影響により水道管が破裂し、断水になったことがある。

そのため、アンケート結果の災害に強い町を誇りに思っているということに疑問を感じる。

(4) その他

事務局より計画期間に関する考え方と施策の評価に関する補足説明。

2名の委員より審議会に参加してみての感想をいただく。

- 事務局 まちづくり総合プランをご確認頂くとおわかりになるとおり、将来の都市像や各施策でどのような方針や視点で取組みを進めるのかという点について記載しており、こちらは10年というより長いスパンを見据えた方針として策定する。しかしながら、社会背景や市民のニーズというのは変わっていくものであることから、基本計画部分については5年を目処に見直したいと考えている。  
一方で、具体的に何をやっていくかという部分については、アクションプログラムのローリングという形で、毎年見直しを行うこととなる。  
また、全施策の成果指標達成度一覧については、代表的な数字的な指標のみを定めているが、例えば災害やコロナ禍など数字に表れない部分も含めて、自己評価となるが行政評価という形でまとめている。これをもとに、議会や各審議会等でご意見を頂くことになる。
- 会長 年齢の若い委員からも、総合計画にかける思いや若者としての考えをぜひご発言いただきたい。
- 委員 今回会議に参加して、大牟田市が実施している様々な取組を知ることができ、非常に感心した。  
そのことが若者に伝わっていないことが一番問題であり、若者に発信する方策を考えていくことが重要であると感じた。
- 委員 4年前から大牟田市で生活しているが、お店や交通機関等に関すること以外は不十分と思うところはなく、ある程度充実していることを実感している。  
本日の会議においても気づきを得ることができたので、この経験を今後どのようにプラスにしていこうと考えている。
- 事務局 第2回以降の日程については、具体的な日付が決まり次第、委員の皆さんに報告する。

以上 (20:00) 終了